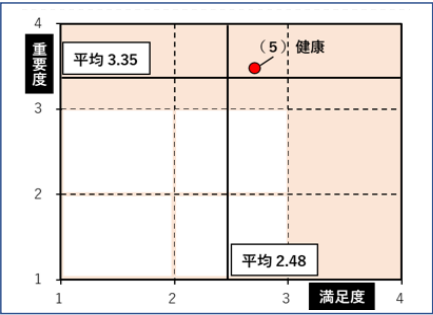


【めざす姿】生涯を通じ、健康に暮らすことができる

■まちづくりアンケート調査結果(点)									
年代別内訳(点)									
指標	R7	R8	R9	R10	R7平均	20代以下	30～40代	50～60代	70代以上
現在の満足度	2.7	0	0	0	2.48	3	2.58	2.65	2.78
今後の重要度	3.48	0	0	0	3.35	3.59	3.55	3.56	3.35



■横断的な取組の進捗CHECK②

みんなのテーマ	進捗状況	評価の理由
豊かなひとづくり 「こどもが育つ、大人も育つ」	2(やや遅れている)	国民健康保険特定健康診査では世代や地域による受診率の特性を分析し、受診率の低い年代、地域にはがき送付や個別訪問に受診勧奨を行いました。受診率はわずかな上昇に止まりました。 一方、高校での啓発やメンタルヘルス講座の実施により、若年層への健康意識の醸成が図れています。また、健康教育や出前講座等を通じて学びの機会を提供しており、健康づくりの意識向上につながりました。
継承と変革 「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」	3(計画通り進めている)	スコアリングシートの活用により、地域の健康課題の見える化が進むとともに、健康マイレージ事業の拡充などにより、持続的な健康づくりの基盤整備が進んでいます。また、受診機会の拡大や自己負担額の軽減の検討など、将来を見据えた取組を進めています。一方で、がん検診の受診率は依然として低く、実行性の高い取組への転換が求められます。 国民健康保険で実施している健診事業では、受診しやすい体制づくりのため、直接医療機関へ申し込みをするものを除いてWebでの受付を行っています。
これからの自治 「つながりを結び直す」	3(計画通り進めている)	各地区住民自治協議会を拠点とした取組や出前講座の実施により、地域団体との連携が進んでいます。また、相談支援や啓発活動を通じて住民同士や行政とのつながりの強化に寄与しています。

■基本事業(具体的な取組)CHECK①

基本事業番号	キーワード	めざす姿	具体的な取組 (PLAN)	事務事業 (DO)	効果検証 (CHECK)	指標番号	成果指標名	成果指標の説明	単年／累計	現状値	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	目標値	成果指標の進展度	所管課	事務事業改善案 (ACTION)	基本事業の進捗			
①	健康	生涯を通じ、健康に暮らすことができる身体をつくります	・健康相談や健康教育(出前講座・まちの講師)、訪問指導等を通して、地域団体等への啓発や情報提供及び個別支援を実施します。 ・健康教育について、行政チャンネルやホームページ、SNS等を通して啓発を実施します。 ・働く世代へのアプローチのため、企業等へ出前講座などの活用について周知し、健康を保持・増進するための行動変容につなげ、健康寿命の延伸を図ります。 ・新たな感染症拡大に備え、適切な健康情報や保健事業の提供を実施します。 ・出前講座や啓発活動を通し、心の不調やストレスに直面した時の対処法を身に着けることができるよう知識の普及をはかります。	整理番号 事業名	【効果が出ている点】 ●各地区住民自治協議会への健康機器の配布や、検診受診率・疾病別医療費を可視化したスコアリングシートの配布により、地域ごとの健康課題の共有が進み、住民の健康づくりの意識向上につながっています。 ●健康マイレージ事業の積極的な周知により応募者数が増加しており、健康づくりへの参加のきっかけづくりとして機能しています。 ●自殺対策については、市内高校の文化祭での啓発やメンタルヘルス講座の実施により、若年層を中心にごころの健康に関する理解促進に一定の効果が見られました。 【新たな課題】 ●スコアリングシートの活用を、具体的な行動変容につなげる取組や、メンタルヘルス対策の全世代への展開が課題です。加えて、健康マイレージの継続的な参加促進や効果の検証が必要です。 ●がん検診の受診率は県下でも低い状況にあり、受診機会の拡大や受診勧奨の強化により、受診率向上に向けた取組を一層推進する必要があります。	Ⅰ	健康寿命	65歳からの平均余命から介護等が必要な期間を除いた期間により算出した年齢(平均余命－介護等が必要な期間)＋65歳 ※平均余命：65歳から死亡するまでの平均期間	単年	R6 男性 83.28歳女性 87.20歳	R7 男性 83.28歳女性 87.20歳				R10 延伸	○ある程度進んだ (85%以上100%未満)	健康福祉部健康推進課	●がん検診の受診率向上に向けては、これまで巡回バスによる集団検診に限られていた肺がん検診を、医療機関で受診できるよう関係機関と調整します。 ●がん検診については、受診習慣の定着を目的として、大腸がん検診と肺がん検診の自己負担額の無料化を検討し、受診しやすい環境整備を図ります。 ●スコアリングシートについては、各地域団体等への説明や活用支援を行い、具体的な行動変容につなげます。 ●メンタルヘルス対策については、若年層に加え幅広い世代への啓発を強化するとともに、相談窓口の周知など早期相談につながる体制の充実を図ります。 ●健康マイレージ事業については、インセンティブの見直し等により継続体制の整備を進めます。	○計画通り進めている (85%以上100%未満)			
				250 予防接種業務経費																		
				249 感染症予防業務経費																		
									248 歯科保健事業													
									245 青山保健センター管理経費													
									244 大山田保健センター管理経費													
									243 健康づくり推進事業													
									236 検診事業													
									235 健康増進事業													
									整理番号 事業名													
									624 予備費													
									575 予備費													
									574 退職被保険者等保険税還付金													
									573 一時借入金金利子													
									572 一般被保険者移送費													
				511 医薬諸費																		
				510 医薬品衛生材料費																		
				509 医療用消耗器材費																		
				508 医療用機械器具費																		
				507 連合会負担金																		
				506 一般管理費																		
				505 償還金																		
				504 一般被保険者保険税還付金																		
				503 保健衛生普及費																		
				502 特定健康診査等事業費																		
				501 介護納付金分																		
				500 一般被保険者後期高齢者支援金等分																		
				499 一般被保険者医療給付費分																		
				498 葬祭費																		
				497 出産育児一時金																		
				496 一般被保険者高額介護合算療養費																		
				495 一般被保険者高額療養費																		
				494 審査支払手数料																		
				493 一般被保険者療養費																		
				492 一般被保険者療養給付費																		
				491 趣旨普及費																		
				490 運営協議会費																		
				489 賦課徴収費																		
				488 連合会負担金																		

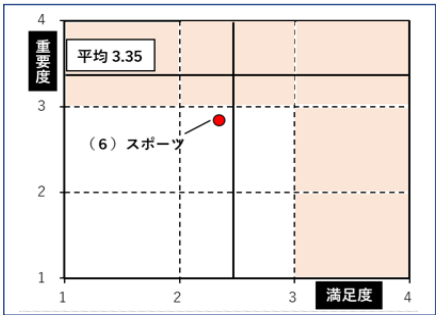
◆令和7年度外部評価

項目	評価	所見	その他の意見等
(1)効果検証の適正性			
(2)事務事業改善案の妥当性			
(3)施策の進捗状況			

【施策】2-3 スポーツ

【めざす姿】気軽にスポーツを楽しむことができる

■まちづくりアンケート調査結果(点)					年代別内訳(点)				
指標	R7	R8	R9	R10	R7平均	20代以下	30～40代	50～60代	70代以上
現在の満足度	2.34	0	0	0	2.48	2.32	2.17	2.28	2.51
今後の重要度	2.85	0	0	0	3.35	2.82	2.83	2.83	2.89



■横断的な取組の進捗CHECK②		
みんなのテーマ	進捗状況	評価の理由
豊かなひとづくり 「こどもが育つ、大人も育つ」	3(計画通り進めている)	地域や企業のイベントへのスポーツ推進委員派遣件数が増加しており、幅広い世代がスポーツを楽しむことが出来ました。
継承と変革 「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」	2(やや遅れている)	伊賀市スポーツ施設再編・整備計画に基づき、スポーツ施設の整備を行っているが、やや計画が遅れている部分があります。現在計画の中間見直しを行っています。
これからの自治 「つながりを結び直す」	3(計画通り進めている)	伊賀上野シティマラソンや市民スポーツフェスティバル、伊賀地区駅伝など各種団体と連携して開催し、スポーツを通じた健康づくりや交流機会の場を提供しました。

■基本事業(具体的な取組)CHECK①																										
基本事業番号	キーワード	めざす姿	具体的な取組(PPLAN)	事務事業(DO)	効果検証(CHECK)	指標番号	成果指標名	成果指標の説明	単年／累計	現状値	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	目標値	成果指標の進展度	所管課	事務事業改善案(ACTION)	基本事業の進捗							
①	スポーツ活動	ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します	・スポーツイベントを、健康増進に留まらず地域の魅力発信や活性化につなげ、参加者数や交流人口の増加を図ります。 ・学校や各団体と連携を深め、スポーツや運動が好きになるような取組を推進します。 ・既存の事業や組織の見直しを行い、団体や実行委員会が安定的かつ主体的に事業を運営していけるよう支援します。 ・スポーツに興味を持ってもらうため、スポーツチームと連携し、トップレベルのスポーツに触れる機会を創出します。 ・アーバンスポーツについて、市民ニーズを把握し、普及促進と認知度向上をめざします。	<table><tr><th>整理番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>472</td><td>スポーツ活動振興事業</td></tr><tr><td>471</td><td>一般事務経費</td></tr></table>	整理番号	事業名	472	スポーツ活動振興事業	471	一般事務経費	[効果が出ている点] ●伊賀上野シティマラソン、スポーツフェスティバル、伊賀地区駅伝大会等のスポーツイベントを通じて、地域住民の健康づくりと交流機会の醸成が図られ、参加者数も増加傾向にあります。 [新たな課題] ●スポーツ推進計画の目標数値である成人週1回以上のスポーツ実施率は、微増に留まっています。	I	スポーツ活動実施率(定期的に運動を行う市民の割合)	スポーツ活動を生活の中に取り入れる取組を進め、スポーツによる市民の健康増進を図る。	単年	R6 41.4%	R7 43.1%					R10 65%	×進まなかった(70%未満)	地域力創造部スポーツ振興課	●地域等のスポーツイベントへのスポーツ推進委員の派遣件数は増加しているが、今後は情報発信を強化し、さらに派遣件数を増加させます。 ●地域おこし協力隊が新たなスポーツイベントの企画・運営を行うことにより市民が体を動かす機会を創出し、SNS等を活用して広報活動に努めます。	△やや遅れている(70%以上85%未満)
					整理番号	事業名																				
					472	スポーツ活動振興事業																				
					471	一般事務経費																				
II																										
III																										
②	スポーツ施設	スポーツ施設の安全性や利便性を高めます	・公共施設最適化計画及びスポーツ施設再編・整備計画に基づいて、施設の再編や長寿命化を進めます。 ・施設の適切かつ効率的な管理運営を行い、より安全で時代に即したスポーツ環境の整備につなげます。 ・スポーツ施設の利用率向上のため、DXを活用した予約システムの導入に取り組めます。	<table><tr><th>整理番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>477</td><td>体育施設整備事業</td></tr><tr><td>476</td><td>体育施設維持管理経費</td></tr></table>	整理番号	事業名	477	体育施設整備事業	476	体育施設維持管理経費	[効果が出ている点] ●スポーツ施設再編・整備計画に基づき計画にある施設の廃止はほぼ完了しています。 ●アーバンスポーツ施設について、スポーツ推進審議会からの答申を受け、今後の方針を決定することができました。 [新たな課題] ●スポーツ施設再編・整備計画に基づく施設整備については計画どおりに実施されている事業と未実施の事業があるため、利用者の利便性向上のため施設整備を進める必要があります。 ●学校開放施設以外のスポーツ施設の予約システムが確立されていません。	I	スポーツ施設の稼働率	市が運営・整備するスポーツ施設の利用状況(稼働日数／365日)	単年	R6 51.32%	R7 53.57%					R10 55.15%	○ある程度進んだ(85%以上100%未満)	地域力創造部スポーツ振興課	●スポーツ施設再編・整備計画について、スポーツ推進審議会において進捗管理及び中間見直しを行います。 ●デジタル自治推進課と連携し、市内公共施設予約システムの検討を行います。	△やや遅れている(70%以上85%未満)
					整理番号	事業名																				
					477	体育施設整備事業																				
					476	体育施設維持管理経費																				
II																										
③						I																				
						II																				
④						I																				

◆令和7年度外部評価				
項目	評価		所見	その他の意見等
(1)効果検証の適正性				
(2)事務事業改善案の妥当性				
(3)施策の進捗状況				

施策評価シート

【施策】2-7 廃棄物

【めざす姿】ごみ減量化やリサイクルが定着し、循環型社会が構築されている

分野

2. くらしをささえる

【取りまとめ部局】

人権生活環境部

NO.

10

2026/6/11

■まちづくりアンケート調査結果(点)

指標	R7	R8	R9	R10	R7平均	20代以下	30～40代	50～60代	70代以上
現在の満足度	2.69	0	0	0	2.48	2.75	2.54	2.61	2.83
今後の重要度	3.42	0	0	0	3.35	3.51	3.41	3.49	3.36

■基本事業(具体的な取組)CHECK①

基本事業番号	キーワード	めざす姿	具体的な取組(PLAN)	事務事業(DO)	効果検証(CHECK)																						
①	ごみ処理	持続可能なごみ処理体制を維持するため、ごみ処理コストの低減や不法投棄の防止に努めます	・ごみの排出抑制やリサイクルの取組の普及・啓発に努め、市民1人当たりのごみの排出量を削減することで、ごみ処理コストの削減を図ります。 ・持続可能なごみの適正処理態勢を確保するため、伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村の4市町村でごみ処理の広域化を検討します。 ・ごみの4R(リフューズ、リユース、リデュース、リサイクル)の取組を推進し、ごみの資源化に努めます。 ・引き続き地域や警察と連携し、不法投棄の防止・早期発見に努めます。	<table><thead><tr><th>整理番号</th><th>事業名</th></tr></thead><tbody><tr><td>271</td><td>不燃物処理及び施設維持管理経費</td></tr><tr><td>270</td><td>ストックヤード維持管理経費</td></tr><tr><td>269</td><td>資源化ごみ処理及び施設維持管理経費</td></tr><tr><td>268</td><td>ごみ中継施設維持管理経費</td></tr><tr><td>267</td><td>粗大ごみ戸別収集事業</td></tr><tr><td>266</td><td>ごみ収集経費</td></tr><tr><td>265</td><td>ごみ処理広域化検討事業経費</td></tr><tr><td>264</td><td>伊賀南部環境衛生組合負担金</td></tr><tr><td>263</td><td>一般廃棄物減量等推進事業</td></tr><tr><td>262</td><td>清掃管理経費</td></tr></tbody></table>	整理番号	事業名	271	不燃物処理及び施設維持管理経費	270	ストックヤード維持管理経費	269	資源化ごみ処理及び施設維持管理経費	268	ごみ中継施設維持管理経費	267	粗大ごみ戸別収集事業	266	ごみ収集経費	265	ごみ処理広域化検討事業経費	264	伊賀南部環境衛生組合負担金	263	一般廃棄物減量等推進事業	262	清掃管理経費	【効果が出ている点】 ●生ごみ処理容器購入費補助金の普及啓発に取り組んだところ、31件の補助実績がありました。 ●さくらリサイクルセンターは、機械設備の耐用年数を踏まえ計画した補修改修工事を実施しており、重大な機械設備の故障は生じていません。伊賀南部クリーンセンターは機械設備の経年劣化が見られ、必要な補修改修を行いました。 ●持続可能なごみの適正処理体制の構築に向けた検討を進め「伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化基本構想」を策定しました。 ●「伊賀市一般廃棄物処理基本計画」を改訂し、更なるごみ減量・再資源化を図るため、目標値の設定や、市民・事業者・行政の具体的な取り組みを示しました。
整理番号	事業名																										
271	不燃物処理及び施設維持管理経費																										
270	ストックヤード維持管理経費																										
269	資源化ごみ処理及び施設維持管理経費																										
268	ごみ中継施設維持管理経費																										
267	粗大ごみ戸別収集事業																										
266	ごみ収集経費																										
265	ごみ処理広域化検討事業経費																										
264	伊賀南部環境衛生組合負担金																										
263	一般廃棄物減量等推進事業																										
262	清掃管理経費																										
					Ⅱ																						
					Ⅲ																						
②	し尿処理	生活排水を適正に処理します	・定期的に処理後の放流水の排水検査を行い、適正に処理されていることを確認します。	<table><thead><tr><th>整理番号</th><th>事業名</th></tr></thead><tbody><tr><td>273</td><td>し尿処理及び施設維持管理経費</td></tr><tr><td>272</td><td>し尿収集経費</td></tr></tbody></table>	整理番号	事業名	273	し尿処理及び施設維持管理経費	272	し尿収集経費	【効果が出ている点】 ●搬入業者との調整により、施設の処理能力を上回ることはありませんでした。 ●直接収集区域においても、収集作業日程により計画的に収集を行った結果、施設への影響は出ませんでした。 ●市直営のし尿収集業務について、将来的な人員不足を見据えた持続可能なサービス維持のため、民間委託への移管等に向け事業者との協議を継続して行いました。																
整理番号	事業名																										
273	し尿処理及び施設維持管理経費																										
272	し尿収集経費																										
					Ⅱ																						
③					Ⅰ																						
					Ⅱ																						
④					Ⅰ																						

■横断的な取組の進捗CHECK②

みんなのテーマ	進捗状況	評価の理由
豊かなひとづくり「こどもが育つ、大人も育つ」	3(計画通り進めている)	ごみ処理は住民の生活環境を維持することから、安心して暮らせる権利の保障につながります。
継承と変革「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」	3(計画通り進めている)	将来にわたって持続可能なごみの適正処理体制の構築に向け、ごみ処理広域化に取り組んでいます。
これからの自治「つながりを結び直す」	3(計画通り進めている)	ごみ処理における公共の関わりを重視し、ごみ処理広域化の検討を進めています。

■成果指標進展度

指標番号	成果指標名	成果指標の説明	単年／累計	現状値	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	目標値	成果指標の進展度	所管課	事務事業改善案(ACTION)	基本事業の進捗
Ⅰ	全国平均に対する市民1人当たりの1日のゴミの排出量	市民1人当たりの1日のゴミ排出量が、毎年全国平均より下回っている。	単年	R5 93.2%	R7 93.7%				R10 93%	◎目標以上に進んだ(100%以上)	人権生活環境部 資源循環推進課	●ごみ処理広域化について、令和8年2月に策定した基本構想を踏まえ、4市町村で具体的な検討を進めます。 ●一般廃棄物処理基本計画で示したごみ減量・再資源化を図るための具体的な取り組みを進めます。 ●ごみ分別アプリの普及を促進するとともに、様々な広報手段を通じてごみの資源化、リサイクルについて啓発を行います。	○計画通り進めている(85%以上100%未満)
Ⅱ	排水処理水の数値	地元との環境協定で定められている基準値以下	単年	R6 100%	R7 100%				R10 100%	◎目標以上に進んだ(100%以上)	人権生活環境部 浄化センター	●し尿処理施設の適正な維持管理に努めます。 ●処理後の放流水が安全基準を保つよう厳重に管理します。 ●市直営し尿収集業務の民間への移管等について、引き続き検討します。	○計画通り進めている(85%以上100%未満)
Ⅰ													
													Ⅱ

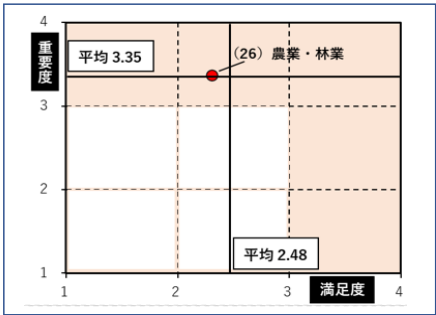
◆令和7年度外部評価				
項目		評価	所見	その他の意見等
(1)効果検証の適正性				
(2)事務事業改善案の妥当性				
(3)施策の進捗状況				

【施策】 4-2 農業・林業

【めざす姿】 人と自然が共生し、農林業を元気にする

■まちづくりアンケート調査結果(点)						年代別内訳(点)				
指標	R7	R8	R9	R10	R7平均	20代以下	30～40代	50～60代	70代以上	
現在の満足度	2.31	0	0	0	2.48	2.82	2.43	2.22	2.23	
今後の重要度	3.37	0	0	0	3.35	3.43	3.35	3.42	3.33	

■基本事業(具体的な取組)CHECK①

[illegible]

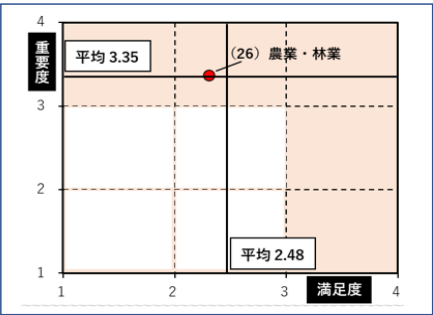
■横断的な取組の進捗CHECK②

みんなのテーマ	進捗状況	評価の理由
豊かなひとづくり 「こども育つ、大人も育つ」	3(計画通り進めている)	○新規規程等の確保については継続して関係機関と連携を図りながら指導・助言をおこなっています。 また、スクール給食を通して食育をはじめ、有機農業の啓蒙も進めています。○令和8年12月の策定に向けて進めている「伊賀市夢のある農業振興計画」については、農業だけではなく、さまざまな分野からの意見を聴取し持続可能な農業の実現に向けて進めています。○森林環境教育の実施や自伐林業の育成支援等により、こどもから大人まで森林に関わる学びや担い手づくりを進めています。また、多様な主体の参画により地域活動への関与も広がっています。しかしながら、担い手不足や人材の固定化が見られることから、さらなる人材の育成や多様な人材の参画促進が必要とされます。
継承と変革 「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」	3(計画通り進めている)	○伊賀市夢のある農業振興計画の策定を進めるにあたり、農業者の意見だけでなく、消費者や学生等といったさまざまな意見を聴取することで、新しい気付きや取組みが期待できます。○森林整備や木材利用の推進により、森林資源の有効活用や災害に強い基盤づくりが進んでいます。また、地域経済の循環に向け、地域材の活用や林業振興を推進します。「まちと」むらの共生に向け、下流自治体との連携に向けた事業を検討しています。一方で、担い手不足や木材需要の安定確保などの課題があり、持続可能な体制づくりの強化が必要です。
これからの自治 「つながりを結び直す」	3(計画通り進めている)	○伊賀市で初となる「オープンハウス説明会」を実施し、市民との対話の機会を設けました。また、農業者だけではなく消費者や学生等からの意見聴取を実施しました。令和8年度にはタウンミーティングを実施することで、市民参加の促進や他分野との協働を図っています。○伊賀市未来の山づくり協議会をはじめとした関係機関との連携により、多様な主体との協働や共参画が進んでいます。○森林整備や里山保全活動、森林環境教育の取組を通じて、市民や関係団体の参画が進み、地域課題の解決に向けた取組を展開しています。今後は、さらなる市民参加の促進や新たな担い手の確保が必要です。

■成果指標進展度

【めざす姿】人と自然が共生し、農林業を元気にする

■まちづくりアンケート調査結果(点)									
年代別内訳(点)									
指標	R7	R8	R9	R10	R7平均	20代以下	30～40代	50～60代	70代以上
現在の満足度	2.31	0	0	0	2.48	2.82	2.43	2.22	2.23
今後の重要度	3.37	0	0	0	3.35	3.43	3.35	3.42	3.33



■横断的な取組の進捗CHECK②

みんなのテーマ	進捗状況	評価の理由
豊かなひとづくり 「子どもが育つ、大人も育つ」	3(計画通り進めている)	○新規就農者の確保については継続して関係機関と連携を図りながら指導・助言をおこなっています。 また、スマイル給食を通じて食育をはじめ、有機農業の啓発も進めています。○令和8年12月の策定に向けて進めている「伊賀市夢のある農業振興計画」については、農業だけではなく、さまざまな分野からの意見を聴取し持続可能な農業の実現に向けて進めています。○森林環境教育の実施や自伐林家の育成支援等により、子どもから大人まで森林に関わる学びや担い手づくりを進めています。また、多様な主体の参画により地域活動への関与も広がっています。しかしながら、担い手不足や人材の固定化が見られることから、さらなる人材の確保・育成や多様な人材の参画促進が必要です。
継承と変革 「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」	3(計画通り進めている)	○「伊賀市夢のある農業振興計画」の策定を進めるにあたり、農業者の意見だけでなく、消費者や学生等といったさまざまな意見を聴取することで、新しい気付きや取組みが期待できます。○森林整備や木材利用の推進により、森林資源の有効活用や災害に強い基盤づくりが進んでいます。また、地域経済の循環に向け、地域材の活用や林業振興を推進します。「まち」と「むら」の共生に向け、下流自治体との連携に向けた事業を検討しています。一方で、担い手不足や木材需要の安定確保などの課題があり、持続可能な体制づくりの強化が必要です。
これからの自治 「つながりを結び直す」	3(計画通り進めている)	○伊賀市で初となる「オープンハウス型説明会」を実施し、市民との対話の機会を設けました。また、農業者だけではなく消費者や学生等からの意見聴取を実施しました。令和8年度にはタウンミーティングを実施することとしており、市民参加の促進や他分野との協働を図っています。○伊賀市未来の山づくり協議会をはじめとした関係機関との連携により、多様な主体との協働も少しずつ進んでいます。森林整備や里山保全活動、森林環境教育の取組を通じて、市民や関係団体の参画が進み、地域課題の解決に向けた取組を展開しています。今後は、さらなる市民参画の促進や新たな担い手の確保が必要です。

■基本事業(具体的な取組)CHECK①

基本事業番号	キーワード	めざす姿	具体的な取組(PLAN)	事務事業(DO)	効果検証(CHECK)	指標番号	成果指標名	成果指標の説明	単年／累計	現状値	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	目標値	成果指標の進展度	所管課	事務事業改善案(ACTION)	基本事業の進捗																			
③	森林環境	森林環境を整え、災害に強い森林づくり、魅力ある地域の山づくりを推進します	・不明確な森林境界を明確にすることにより、森林整備を促進させます。 ・環境林の間伐施業を行い、森林の適切な整備及び保全を行うことにより、災害に強い森林づくりを進めます。 ・自伐林家の育成を支援し、山の担い手づくりを推進します。 ・魅力ある地域の山づくりを推進し、地域の活性化を図ります。	<table><tr><th>総務番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>618</td><td>みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業</td></tr><tr><td>617</td><td>みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業</td></tr><tr><td>560</td><td>財産区有林造成事業</td></tr><tr><td>559</td><td>一般管理経費</td></tr><tr><td>330</td><td>森林環境譲与税事業</td></tr><tr><td>323</td><td>森林環境保全整備事業</td></tr><tr><td>322</td><td>治山林道維持経費</td></tr><tr><td>318</td><td>森林環境創造事業</td></tr></table>	総務番号	事業名	618	みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業	617	みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業	560	財産区有林造成事業	559	一般管理経費	330	森林環境譲与税事業	323	森林環境保全整備事業	322	治山林道維持経費	318	森林環境創造事業	〔効果が出ている点〕 ●森林境界の明確化や環境林の間伐施業により、森林整備の推進及び災害に強い森林づくりが進んでいます。 ●自伐林家の育成支援等により担い手の確保や地域の山づくりの推進、地域活性化が図られています。 ●各事業（みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）、森林環境譲与税事業等）の実施により、里山保全活動が推進され、森林の公益的機能の維持向上や地域活動の活性化が図られました。 〔新たな課題〕 ●担い手不足、継続的な施業体制の確保が課題となっています。	I	境界明確化実施面積	森林環境整備の推進を図るため、森林の境界を明確化した面積(ha)	単年	R6 280ha	R7 243.45ha					R10 220ha	◎目標以上に進んだ(100%以上)	産業農林部 未来の山づくり推進課	●担い手不足の課題に対しては、自伐型林業の推進や新規就林者を増やすための取組、研修機会の確保等により人材の確保・育成を図るとともに、関係団体との連携強化により事業の継続性の向上に努めます。	◎完了(100%以上)
				総務番号	事業名																																	
618	みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業																																					
617	みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業																																					
560	財産区有林造成事業																																					
559	一般管理経費																																					
330	森林環境譲与税事業																																					
323	森林環境保全整備事業																																					
322	治山林道維持経費																																					
318	森林環境創造事業																																					
II																																						
④	森林資源	森林資源を有効活用し、山の魅力発信、木材の利用推進を行います	・森林所有者及び林業従事者の作業道整備、木材搬出の支援及び持続的な林業経営確立への支援を行い、森林の適正管理及び間伐材の利活用を推進します。 ・伊賀市産木材の搬出量を増加させ、ブランド化の推進、原木市場の活性化を図ることで、山林所有者の育林・施業への関心及び素材生産者等林業関係者の意欲の高揚を促進します。 ・テナント・店舗等において、伊賀市産木材で木質化されたモデル店舗を創出し、木の温もりを感じられる空間を情報発信することで、地域材の活用を促進します。 ・下流の自治体との連携による水源の森林への関心を促す取組を推進します。 ・こどもたちの森林環境教育活動を支援し、山づくり意識の普及啓発を推進します。	<table><tr><th>総務番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>321</td><td>ハーモニー・フォレスト維持管理経費</td></tr><tr><td>319</td><td>緊急間伐・搬出間伐推進事業</td></tr><tr><td>330</td><td>森林環境譲与税事業の一部</td></tr></table>	総務番号	事業名	321	ハーモニー・フォレスト維持管理経費	319	緊急間伐・搬出間伐推進事業	330	森林環境譲与税事業の一部	〔効果が出ている点〕 ●作業道整備や木材搬出支援等により、森林の適正管理や間伐材の利活用が推進されるとともに、伊賀市産木材の利用拡大や原木市場の活性化、林業関係者の意欲向上が図られました。 ●森林環境教育、地域材利用の促進や森林への関心の醸成が進んでいます。 〔新たな課題〕 ●担い手不足や木材搬出コストの増加、需要と供給の不足、取組の継続性の確保が課題となっています。	I	市内の原木市場へ搬出された材木の内、市内で伐採された材木の材積	原木市場では生産者から集めた原木丸太を選別、仕分けを行い原木市を開催。森林整備の進捗状況を表す。	単年	R6 7,327m3	R7 7,834m3				R10 9,000m3	◎目標以上に進んだ(100%以上)	産業農林部 未来の山づくり推進課	●担い手不足に対しては、人材の確保・育成に向けた取組を強化します。 ●補助金等による木材搬出支援や効率的な施業の推進に努め、木材市場との連携による需要と供給の増加や販路拡大による取組により、地域材の安定的な利用促進を図ります。	◎完了(100%以上)											
				総務番号	事業名																																	
321	ハーモニー・フォレスト維持管理経費																																					
319	緊急間伐・搬出間伐推進事業																																					
330	森林環境譲与税事業の一部																																					
II																																						

◆令和7年度外部評価

項目	評価	所見	その他の意見等
(1)効果検証の適正性			
(2)事務事業改善案の妥当性			
(3)施策の進捗状況			